

高田のたから



八代市立高田小学校

校長 村本 恭子

「夢の実現に向けて、主体的に学び続ける子供の育成」 ～人・物・時を大切に～

2 学期が始まって約一月・・・

8 月 28日から 2 学期が始まりました。令和8年熊本地震から2ヶ月が経ちます。震災の爪痕はまだ残っている八代市ですが、高田小学校は教育活動を行うことができています。建物の被害も少なく電気、水も通常通りに使えています。南部給食センターの被災により、給食は通常通りにはできていませんが、八代市の素早い対応でレトルト給食、お弁当配送がなされ、学校で昼食を提供できています。食べ慣れないレトルト食品に最初は不満がある様子も見られましたが、非常事態であること、命をつなぐ大切な食料であること、被災の状況によってお弁当を持参できない子どもがいることを知ることで「みんなで乗り越える」心が育った1ヶ月でした。10月からは安全が確認された給食センターから、給食が届くことになっています。地震前には気づかなかった「あたりまえ」のありがたさ、そして多くの方々の努力が着実に復興に向けて進んでいることを子供たちと日々実感しています。

9月16日には沖縄県豊見城(とみぐすく)市から防災士の資格を持たれた4人の方が高田小の子供たちへ沖縄のお菓子を持参訪問されました。沖縄も台風の被害を受けられたばかりのところでしたが、熊本のために災害ボランティアに来られたということでした。遠くから熊本のことを気にかけて、何か役に立ちたいと行動されておられる方々に私たちも大きな力をいただきました。

下の詩はまどみちおさんの「朝が来ると」です。小学生の子供たちは復興に向けてどんな方が尽力してくださっているか、まだわからないかもしれません。でも大人になった自分たちが人を支えられる大人になれるよう、今、学校へ来て勉強しているのだと考えてくれたら嬉しいです。

朝がくると

まど・みちお

朝がくるととび起きて

ぼくが作ったものでもない 水道で

顔をあらうと

ぼくが作ったものでもない

洋服をきて

ぼくが作ったものでもない

ごはんを おしやむしやたべる

それから ぼくが作ったものでもない

本やノートも

ぼくが作ったものでもない

ランドセルにつめて

せなかにしよって

さて ぼくが作ったものでもない

靴をはくと

たったか たったか かけていく

ぼくが作ったものでもない

道路を

ぼくが作ったものでもない

学校へ

ああ なんのために

いまに おとなになったら

ぼくだって ぼくだって

なにかを 作ることが

できるように なるために



10月の主な行事

3日(土) 八代地区科学発明工夫展(八代小) 7日(水) 縦割り班活動 8日(木) 5年リーディングスキルテスト
9日(金) 安全点検 SC来校 12日(月) スポーツの日 13日(火) 小中合同あいさつ運動 6年校区見学
14日(水) 児童集会 みかんの会読み聞かせ 15日(木) 縦割り班活動 16日(金) 就学時健診
21日(水) 全校集会 22日(木) 5時間授業 23日(金) 5時間授業 通知表配付
29日(木) 4年見学旅行 30日(金) 3年見学旅行